

2016年2月改訂 2002

貯法	2～5℃
----	------

承認指令書番号	農林水産省指令 23動薬第2143号
販売開始	1993年2月

動物用生物学的製剤

劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

IBD生ワクチン(バーシン2)

(鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン(ひな用)(シード))

本剤は、弱毒鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス ルカート-BP株を発育鶏卵で増殖させ、その感染鶏胚を乳剤としたものに安定剤を加え、バイアルに5mLずつ分注し、凍結乾燥したものである。本剤は、淡褐色の乾燥物で、生食塩塩液で溶解すると、赤褐色の均質な懸濁液となる。1羽分当たり10¹⁵TCID₅₀以上のワクチンウイルスが含まれている。

【成分及び分量】

(乾燥ワクチン) 1 バイアル(1,000羽分)中

成分		分量
主剤	発育鶏卵培養鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス ルカート-BP株(シード)	10 ^{7.5} TCID ₅₀ 以上
安定剤	バクトペプトン	0.11g
	ファーマトン	0.013g
	N.Z.アミン	0.063g
	スクロース	0.13g
	グルタミン酸ナトリウム	0.013g
保存剤	硫酸ゲンタマイシン	150μg以下

【効能又は効果】

鶏伝染性ファブリキウス嚢病の予防

【用法及び用量】

乾燥ワクチンを適量の水(水道水、井戸水等)で溶解し、さらに日齢に応じた量の水に溶かして、初生から10週齢以下の若齢鶏に、1羽当たり1羽分になるように飲水で投与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

(使用者に対する注意)

- ・作業時にはメガネ、マスク等を着用し、目・鼻・口等に入らないよう注意すること。

(鶏に関する注意)

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、次の何れかに該当する鶏には投与しないこと。
 - ・元氣、食欲がないもの。
 - ・運動の異常、異常呼吸音や下痢など、臨床上異常が認められるもの。
 - ・疾病の治療中又は治療後がないもの。
 - ・他のワクチン接種や移動によりストレスを受けているもの。
 - ・発育が悪く、明らかな栄養障害があるもの。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・本剤には他のワクチンや薬剤を加えて使用しないこと。
- ・本剤投与24時間前後は消毒剤や他の薬剤の使用を控えること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので避けること。
- ・使い残りのワクチン及び使用済みのワクチン容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って人の目・鼻・口等に入ってしまった場合は、洗浄等適切な処置をとること。誤って接種された者は必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス	否	生	無	－

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

- ・ワクチンバイアルは、衝撃により割れて飛び散る恐れがあるので注意すること。
- ・開封時にアルミキャップの切断面で手指を切る場合があるので、手袋を着用するなど十分注意すること。

(鶏に関する注意)

- ・ワクチン投与後は飼養管理等に十分注意し、鶏に与えるストレスの軽減を図ること。
- ・ワクチンウイルスの他鶏群への拡散を防止するため、免疫群は隔離すること。
- ・副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱いに関する注意)

- ・溶解は使用直前に行い、溶解後は速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌混入や効力低下の恐れがあるので、使用しないこと。

- ・移行抗体の高い個体では、ワクチンの効果が抑制されることがあるので、投与時期を考慮すること。
- ・ワクチンの効力を妨げないため、投与24時間前からは一切の投薬や消毒剤の使用を避けること。
- ・ワクチン投与前2～3時間は断水すること。
- ・投与に使用する給水器等の給水設備は、清浄な水(消毒液などは使わない)でよく洗浄すること。
- ・飲水用の水は、井戸水、清水等を使用すること。水道水を利用する場合は、煮沸後冷却したもの、汲み置きしたもの、チオ硫酸ナトリウム(ハイポ)を0.01～0.02w/v%の割合、或いはスキムミルクを0.25%の割合で添加したものを使用すること。
- ・ワクチンが均一になるようによく混和した飲水を給水設備全体に行き渡るようにすること。また、飲水投与中の給水器等に直射日光が当たらないようにすること。

(専門的事項)

①その他の注意

- ・本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

【有効期間】

製造後2年3か月間

【包装】

乾燥ワクチン(1バイアル 1,000回分)×10バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

ゾエティス・ジャパン株式会社

〒151-0053

東京都渋谷区代々木3-22-7

TEL：03-5309-9224 FAX：03-5309-9914

月曜日～木曜日 9：00～12：30、13：30～18：00

金曜日 9：00～12：30、13：30～16：00受付

※土日祝祭日および弊社休業日は除く。

製造販売(輸入)

zoetis  ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

販売元

 japan  ワクチノーバ株式会社

®登録商標

10008566-PI1

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。